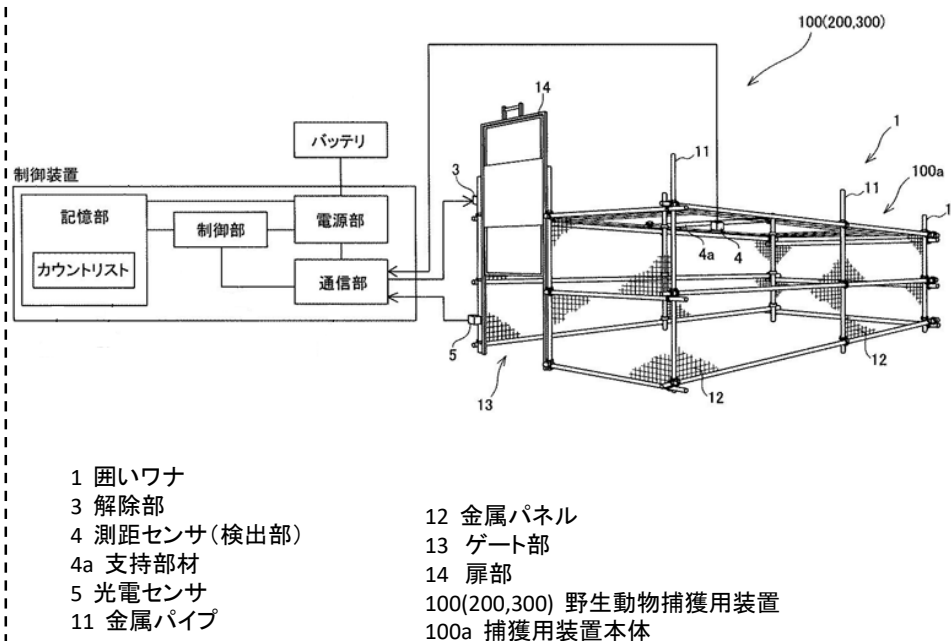


業務用機械

検出部の電力消費量を低減できる野生動物捕獲用装置

発明の名称	野生動物捕獲用装置		
出願人/権利人	株式会社野生鳥獣対策連携センター	発明者	坂田 宏志、阿部 豪
出願日	平成27年8月3日	出願番号	2015-153154
公開番号	2017-29076	特許番号	6564268
法的状態	登録中		

代表図



発明の概要

群れ行動をとる集団性の野生動物を捕獲するための野生動物捕獲用装置

特徴

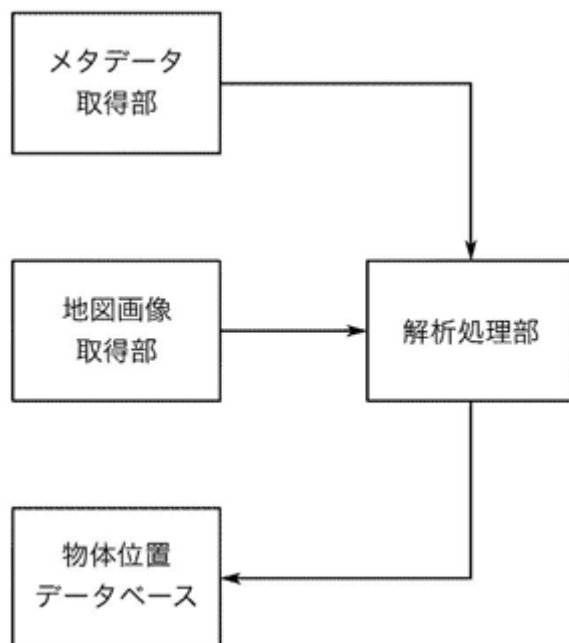
本発明では、捕獲用装置本体内の捕獲領域における野生動物を、所定の時間間隔のタイミングで検出できる。これにより、検出タイミング以外では、検出動作を行わずに済むので、検出部の電力消費量を低減できる。特に、野生動物捕獲用装置を山の中などに設置する際に検出部をバッテリー駆動にした場合にも、電力消費量を効果的に低減できる。さらに特定の出入り口(動物進入用ゲート)を通過する野生動物を計数しなくても捕獲領域における野生動物の捕獲処理を適切に実行できる。これにより、ドロップネットなどの出入り口が限定されないような野生動物捕獲用装置にも適用できる。

放送・通信

移動体や障害物の位置を検出して利用できるシステム

発明の名称	物体位置データベース構築システム		
出願人/権利人	株式会社データ変換研究所	発明者	畑中 豊司
出願日	平成27年12月7日	出願番号	2015-238754
公開番号	2017-106978	特許番号	6559556
法的状態	登録中		

代表図



発明の概要

空間内に存在する通路または障害物の位置を示すデータベースを構築するためのシステム

特徴

本発明は、移動体を運用する空間内に存在している通路または障害物の位置や形状を軽量かつ容易に利用できるデータの形で表現し、移動体の周囲に存在する通路または障害物の検出を行うため、移動体の制御に活用できる。物体検出システムの用途は、クライアント機に代表されるロボットその他の移動体の自律制御、自動運転または遠隔操縦支援が挙げられる。本物体検出システムを利用すれば、移動体の周囲に存在している物体を高速かつ精確に検出できるため、移動体の移動や各種動作を安全に確実にできる。例えば、人やゴミなどの障害物の回避行動も容易に行える。

関連分野

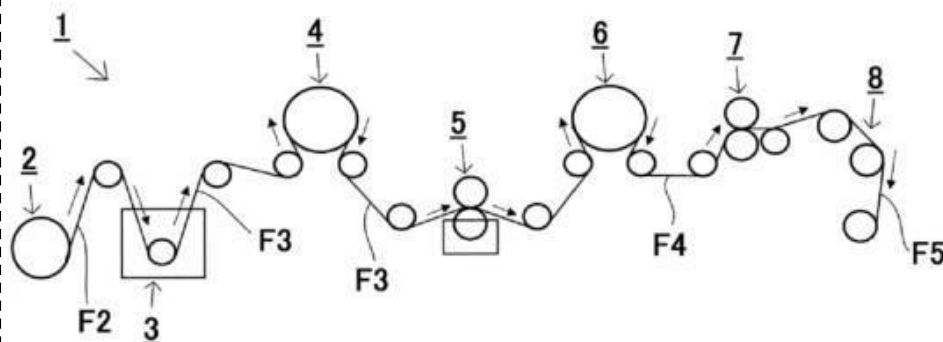
業務用機械、電気機械、マルチメディア機器、陸上輸送機械、海・空等輸送機械、運輸サービス、専門技術サービス

業務用機械

湿式の開繊方式による開繊炭素繊維極細系の製造装置

発明の名称	開繊炭素繊維極細系の製造装置		
出願人/権利人	ジャパンマテックス株式会社	発明者	塚本 勝朗, 塚本 浩晃
出願日	平成30年1月31日	出願番号	2018-016013
公開番号	2019-131925	特許番号	6381009
法的状態	登録中		

代表図



- 1 開繊炭素繊維極細系の製造装置
- 2 給糸部
- 3 槽
- 4 第1乾燥部
- 5 塗布部
- 6 第2乾燥部
- 7 スリット処理部
- 8 撚糸部

- F2 炭素繊維束
- F3 開繊炭素繊維束
- F4 開繊炭素繊維樹脂テープ
- F5 開繊炭素繊維極細系

発明の概要

湿式の開繊方式により開繊炭素繊維極細系を製造するための製造装置

特徴

従来は、開繊に必要なスリット処理が均質に正確に等間隔で連続してスリットできない欠点があった。本発明では、湿式の開繊方式により開繊炭素繊維極細系を製造できるので、開繊炭素繊維の生産過程において、非常に径の小さな極細の線維屑が空气中に飛散する可能性がない。そのため、開繊炭素繊維を生産する空間を隔離する必要がなく、生産設備を簡便にでき、スリットが正確に連続して速くなる。また、炭素繊維束を焼成して炭素繊維の極細系を製造する方法のような従来の炭素繊維の極細系の製造方法よりも、約15倍～約20倍に開繊炭素繊維極細系の製造効率を上げられる。

加工技術

高純度の水酸化リチウムを効率よく製造する方法

発明の名称	水酸化リチウムの製造方法		
出願人/権利人	山本秀樹、三和油化工業株式会社	発明者	山本 秀樹、内野 雄貴、舟子 俊幹
出願日	平成30年2月2日	出願番号	2018-017067
公開番号	2019-131448	特許番号	—
法的状態	出願中		

代表図(図面なし)

【請求項1】

炭酸リチウムと、酢酸を含む酸とを反応させることによって酢酸リチウムを得る酢酸リチウム生成工程と、前記得られた酢酸リチウムと、金属水酸化物とを水性液中で反応させることによって、水酸化リチウムを生成させる水酸化リチウム生成工程と、を含むことを特徴とする水酸化リチウムの製造方法。

発明の概要

リチウム2次電池の正極用材料等として用いられる水酸化リチウムを製造する方法

特徴

炭酸リチウムは酢酸に対する溶解性が極めて高い。そのため炭酸リチウム原料の溶解に時間を殆ど要せず、炭酸リチウムは酢酸に対して少ない液量で溶解する。さらに炭酸リチウムと酢酸は室温でも十分に反応し、酢酸リチウムと金属水酸化物も室温でも十分に反応する。ゆえ、炭酸リチウムから水酸化リチウムを効率よく生成させられる。

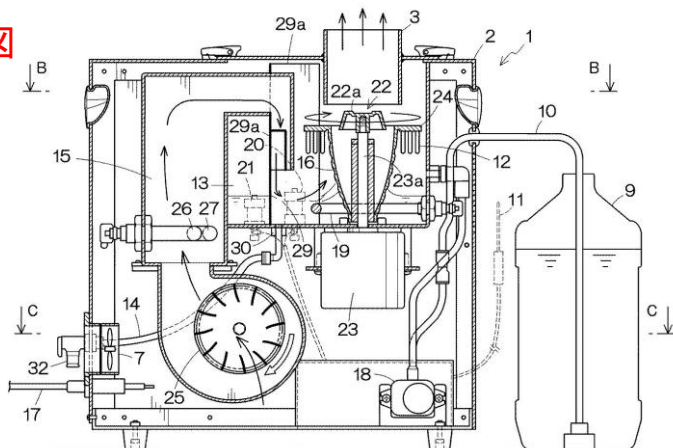
本発明によれば、炭酸リチウムから水酸化リチウムを効率よく生成でき、水酸化リチウムを高収率で製造できると共に、高純度の水酸化リチウムを得られる。さらに本発明では、晶析工程を経ることにより、高純度の水酸化リチウムを得られる。

業務用機械

ベタつかないミストを発生させられるミスト発生装置

発明の名称	発汗身体洗浄用ミスト発生装置		
出願人/権利人	株式会社EINS	発明者	佐川 順治
出願日	平成30年2月11日	出願番号	2018-022618
公開番号	2019-138562	特許番号	6446577
法的状態	登録中		

代表図



- | | | | |
|-------------|---------------|--------------|---------------|
| 1 ミスト発生装置 | 14 水収容部水排出パイプ | 22a 締付キャップ | 30 水収容部水排出口 |
| 2 ケース本体 | 15 エアer流路 | 23 モーター | 32 水収容部水排出コック |
| 3 ミスト排出口 | 16 螺旋状溝 | 23a 回転軸 | B 断面 |
| 7 エアer換気ファン | 17 電源コード | 24 拡張部 | C 断面 |
| 9 給水タンク | 18 給水ポンプ | 25 送風器 | |
| 10 給水パイプ | 19 水加熱ヒータ | 26 エアer加熱ヒータ | |
| 11 温度センサ | 20 上限水位センサ | 27 エアer加熱ヒータ | |
| 12 棒状部 | 21 下限水位センサ | 29 エアer流出口 | |
| 13 水収容部 | 22 ミスト化回転体 | 29a 空気案内壁 | |

発明の概要

微細でベタベタしないほどよいミストを発生させられるミスト発生装置

特徴

本発明は、リモコン操作器の設定温度になるまでは300Wと600Wのヒータでエアer流出口に送る空気が加熱されるので、ミストが充満する浴室内の温度を早期に上昇させられる。また、設定温度になった後は300Wのヒータのみで加熱するので、水収容部内の水を外周部の螺旋状溝に沿って300Wのヒータで加熱した空気とともに上昇させ、飛散された水をミスト化回転体の棒状部に衝突させてミスト化できる。そのため、水分蒸散量が大きくなり、浴室内のミストをベタベタしないほどよいミストにでき、設定温度になった後の浴室内の微細なミストで充満された空間の温度を維持しやすくできる。

関連分野

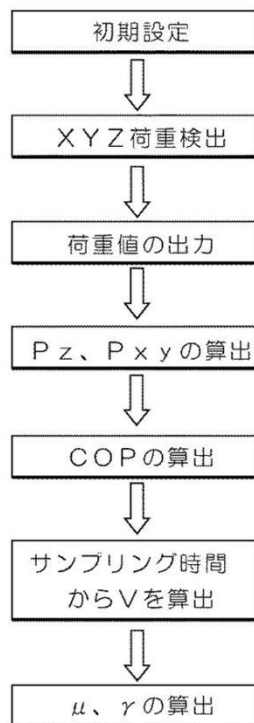
電気機械、専門技術サービス、医療・保健衛生

業務用機械

検体の触感を数値化して評価する触感検出装置

発明の名称	触感検出装置		
出願人/権利人	株式会社テック技販	発明者	瀬瀬 和美
出願日	平成30年2月23日	出願番号	2018-031396
公開番号	2019-144213	特許番号	—
法的状態	出願中		

代表図



発明の概要

検体を触った際の触感を数値化して評価できるようにした触感検出装置

特徴

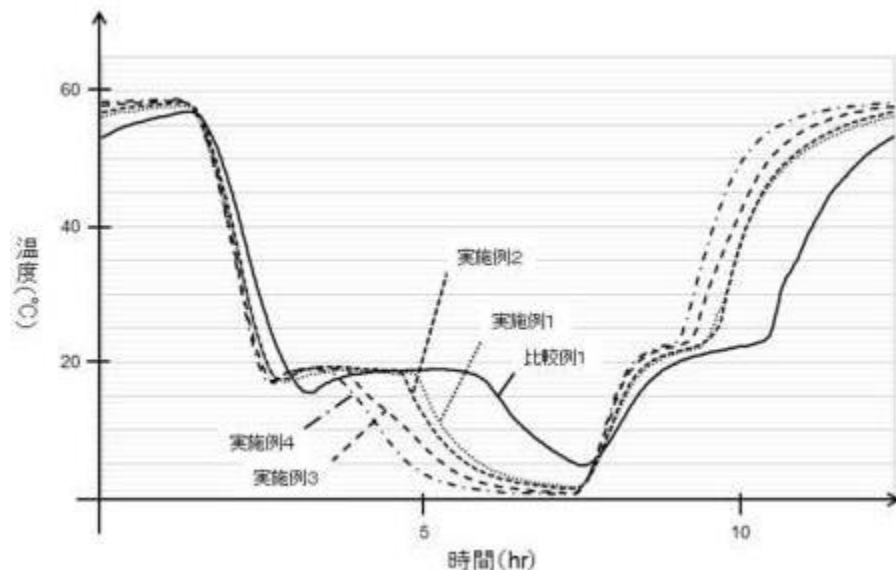
本発明は、検体を載置するプレートと掛かる荷重を検出する複数の荷重検出センサーを備えている。センサーを用いて検体に接触した際におけるXYZ方向の荷重を検出する荷重算出手段と、複数の荷重検出センサーに掛かる荷重から検体に掛かる荷重位置の移動状態を算出する移動状態算出手段と、荷重算出手段で検出された荷重と移動状態算出手段で算出された移動状態から、人間と検体との触感を数値化する触感値算出手段とを備える。そのため、荷重に基づくクーロン摩擦係数だけでなく、移動状態に基づく粘性摩擦係数も算出でき、より人間の触感に近い感覚を評価できる。

ケミカル

安定的に繰り返し使用できる蓄熱材組成物

発明の名称	蓄熱材組成物		
出願人/権利人	株式会社ヤノ技研	発明者	矢野 直達
出願日	平成31年2月6日	出願番号	2019-019226
公開番号	2019-137854	特許番号	—
法的状態	出願中		

代表図



5回目のヒートサイクルにおける
実施例1～4と、比較例1の蓄熱材組成物の温度変化

発明の概要

迅速な蓄熱・放熱を可能とするとともに、
安定的に繰り返し使用を可能とする蓄熱材組成物

特徴

本発明は、所定の温度範囲において固体と液体との間で相変化を行う固液相変化材・水・塩化ストロンチウムを主成分とする核形成材と、黒鉛粉末とを含有する蓄熱材組成物である。黒鉛粉末の比重が蓄熱材組成物の比重に近い場合、蓄熱材組成物に黒鉛粉末を添加すると、黒鉛粉末が蓄熱材組成物中に均一に分散し、蓄熱材組成物全体の熱伝導率を高める。黒鉛粉末の熱伝導率は、金属よりも高いため、蓄熱材組成物の蓄熱・放熱の速度を速める。本発明は蓄熱資材に有用であり、迅速な蓄熱・放熱が可能で、安定的に繰り返し使用を可能な蓄熱材組成物として有効である。

関連分野

業務用機械、陸上輸送機械、海・空等輸送機械、エネルギー、建設・土木、運輸サービス